

若者等活動事務所利活用検討会(令和元年度第4回)結果報告

日時 令和2年1月15日(水) 18時00分～18時50分

場所 高山市役所 3階 302会議室

出席者 検討会メンバー6名、事務局(企画部)3名

内容

1. 開会あいさつ

2. 愛称選考委員会

(1)委員会の説明、委員長の選任について

出席委員6名(うち1名は遅れて参加)+企画部長の7名で「愛称選考委員会」を構成することを確認。委員長の立候補や推薦等がなく、事務局提案として、企画部長が委員長となることで各委員が了承

(2)愛称の選考

<質疑> 長:委員長、員:委員、事:事務局

員:村田邸の雰囲気を考えると、カタカナや横文字よりも日本語が良い。広い「高山」というよりは、ピンポイントで分かる言葉の方が良いと感じる

員:横文字はやめた方が良い。地域では、施設の愛称がどうなろうと「村半」と呼ぶとの意見があった

員:「村半塾」も良いのではと感じる

員:応募があるか気になっていたが、49名と多数の方が応募され、半分以上が10代だったのはありがたい

員:6割以上が10代だったのは良かった。「村半塾」は若者が集まる感じで良いと感じた

長:多くの方が一生懸命考え、応募いただいたことは非常にうれしく思う

員:呼びやすさも考えると、この中では「村半」又は「村半塾」が良いように感じる

員:英語表記はどうするのか。ローマ字表記にするのか、英訳するのか

外国人観光客の来所を考えた時に、英語で通じるような応募もあるが、考慮しなくていいのか
「まちの博物館」では愛称を定めず、施設名は英訳している

長:愛称はローマ字表記、施設名(高山市若者等活動事務所)の英訳併記を考えている

員:「まちの博物館」は「まちはく」で通じているように、呼びやすい名称が良い。「村半塾」より「村半」が呼びやすい。若者中心で進められているが、幅広い年代に使ってもらわないと施設が使い切れないと考えるなかで、「塾」が適当なのかと感じる

員:「村田邸」「村半」はこれまでの屋敷を指すイメージのため、そこに新たな意味が加わった「塾」という言葉を付け、これまでとは変化させる意味で「村半塾」とするのが良いと感じる。実際には省略して「村半」と呼ばれることもあると思うが、それは差し支えない

員:外から来た学生は「村半」って何だろうと思うだろうが、そこから地域の歴史等に興味が繋がってくと良い

長:その他の名称について、議論しておこうといったものはあるか

員:意見なし

長:特段の意見がないことから、「村半」か「村半塾」で議論していきたい

員:まちづくり協議会で地域のコミュニティとして寺子屋に取り組んでいるところがあり、寺子屋といった意味での「塾」が付くと良いと考える

員:「塾」の定義をつき詰めなければならない。市内にも〇〇塾はあり、施設の用途や利用形態を踏ま

えると、「塾」が示す学習は一部分であるように感じる。単純に「村半」とするのもどうかという思いもあり、何かの言葉を付けて変化を示すという考え方は理解でき、悩ましいところ

員：下ではなく上に文字列を付けることもあり得るのか

事：愛称に字数制限はなく、上に文字列が入り長くなっても差し支えない

員：何か言葉を付けるならば、「邸」がしっくりくる。「塾」では、学びに行くというニュアンスになるため、集う場所といったニュアンスになる言葉が適当と感じる。ただし、「村半邸」では相応しくない

長：若者の「塾」という字句に対する捉え方はどうか

員：我々の年代は、適塾や寺子屋など歴史を踏まえた広い意味で捉えるが、高校生などは、進学塾などを想定した狭い範囲で捉える恐れがある。そのように狭く捉えられるのは望むところではない

長：各委員の意見を整理したい

員：「塾」を付けた方が良い

員：保留とする

員：「村半」が良い

員：「塾」を付けた方が良い

員：「村半」が良い

員：「村半」だけの方が、愛称として紹介しやすく良い

長：「村半」の方が多数意見である状況

先ほど「塾」を付けるが、実際には付けないで呼ばれるだろうといった意見もあったが、正式名称と愛称があるなか、愛称に、さらに略さないものと略したものがあるよりも、略さないものをそのまま愛称にした方が分かりやすいといった考え方もある

多数意見である「村半」とすることで宜しいか

員：保留としたが対案がある訳でもなく、10名と非常に多くの応募者がある愛称のため、良いと思う

長：愛称選考委員会の意見としては、「村半」に決めさせていただくということで宜しいか

員：異議なし

長：委員会の意見として、そのようにまとめさせていただく

49名の方々が様々に考え、あるいはチラシや現場を見て応募されている。選外となった応募についても貴重なご意見で大切にすべきため、どのような応募があったかといったことは、この委員会限りとさせていただきたいので、よろしく願います

事：長時間、議論いただいて感謝する。委員会の意見について市で承り、商標上の支障がないかなどについて確認したうえで、最終決定させていただく

3. 閉会あいさつ

次回は2月中旬の開催を予定、案内させていただく

オープニングをいつ、どのようにして行くのかなど様々に考えていく必要があり、構成員の皆さまからのアイデア等もいただけたらありがたい

以上